令和３年度

社会福祉法人　桜井の里福祉会

フードバンク燕・弥彦

事業報告

Ⅰ　『フードバンク燕・弥彦』の設立について

１．設立目的

日本は現在「相対的貧困率」が高くなってきており、貧困世帯が増加し経済的に困窮し日々の生活にも困る世帯が多くあります。貧困世帯で暮らす 17 歳以下の子どもは全国で２８０万人以上、子どもの７人に１人の割合になっています。

一方日本では年間１，９２７万トンの食品廃棄物が排出されています。

その中にはパッケージの印字ミスやサイズが揃わず商品として出荷できないものや、まだ十分食べられるのに廃棄されている食品が多くあります。

本事業は、燕市・弥彦村で食事に困っている世帯の食生活等の支援の一助になることを目的とします。

※（上記統計の出典：厚生労働省平成３０年国民生活基礎調査
平成２８年度農林水産省食品ロスの削減に向けて）

社会福祉法人　桜井の里福祉会は、地域活動・地域貢献の一つとして『フードバンク』事業を行います。事業の第一弾として別紙、チラシでお知らせしております『フードドライブ（食べ物を集める運動）』等のご協力をお願いいたします。

２．設立年月日

令和３年８月１日（日）

３．活動市町村

燕市、弥彦村

４．活動内容

・地域住民、各種団体、行政と連携し個人及び企業、フードドライブ等を通じ寄付を受ける。
・ご寄付いただいた食品等を生活困窮世帯及び食事に困っている世帯等に配布する。
・食品配布を行う中で顕在化した課題に対して、必要な活動を行っていく。

５．取扱物品

当面の間は食料品（賞味期限及び消費期限が１ヵ月以上ある未開封のもの）

Ⅱ　言葉の整理

☆フードバンク：「食物銀行」という意味があります。
食品関連企業他より寄贈された食品等を集め、福祉施設や生活困窮者の支援団体等に配る活動です。
―公益財団法人　日本フードバンク連盟ガイドラインより抜粋―

まだ、美味しく食べられるのに廃棄されている食べ物がたくさんあります。その一方で、その日の食べ物にも困っている人たちがたくさんいます。その両方を繋ぎ、個人や企業の方から無償で食品を受け取り、必要とする人たちのもとへお届けします。

☆フードドライブ：food(食べ物)　+　drive(運動)
「食べ物を集める運動」という意味があります。
家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや福祉団体などに寄付するボランティア活動です。

☆フードパントリー：活困窮者やひとり親家庭など、何らかの理由で十分な食事を取ることができない状況の人々に食品を無料で提供する支援活動のこと。

☆食品ロス：本来食べられるのに捨てられてしまう食品。

Ⅲ　活動報告

１）　フードドライブ

回数	開　催　日　時
第１回	８月23日（月）～27日（金）及び29日（日）
第２回	12月　６日（月）～10日（金）及び12日（日）
第３回	３月　７（月）～12日（土）

※通年の受け入れをしています。上記期間については、より広く支援をいただきたいという期間をお知らせしています。

＜フードドライブでいただいた食品等＞

① ３回のフードドライブ開催時は、毎回 100 名以上の方から、約 2000 点を超える食品等をいただきました。現在は、上記の他に通年の受け入れも行っています。

② ご協力いただいている企業・団体様からも随時、食品等のご寄付をいただいています。
③ 燕市学校教育課より、学校給食用の食材をいただきました。（コロナウイルスで学校が休校となったため、パン、グラタン、麺等）
④ 新潟県フードバンク連絡協議会を通じ、県内の企業様より牛乳やヨーグルトをいただきました。
⑤ 食品等の他に、『必要だと思うものを買ってください』と、現金でのご寄付もいただきました。

お名前	金額	お名前	金額
横山　豊治様	10,000 円	弥彦ライオンズクラブ様	10,000 円
樋浦祐一郎様	10,000 円	竹野　史郎様	5,000 円
小熊　弘明様	5,000 円		

【他３名　　計：８名の方　　合計：440,000 円】

２）　フードパントリー
①　配布会

回数	開　催　日　時	会　場	人数（世帯）
第１回	9/12（土）14:00～19:00 9/19（日）14:00～19:00	分水健康福祉プラザ 弥彦村保健センター	54 世帯 40 世帯 合計：94 世帯
第２回	12/18（土）10:00～12:30 12/19（日）15:30～18:30	弥彦村保健センター 分水健康福祉プラザ	31 世帯 40 世帯 合計：71 世帯
第３回	3/19（土）10:00～12:30 3/20（日）15:30～18:00	弥彦村保健センター 分水健康福祉プラザ	28 世帯 51 世帯 合計：79 世帯

② 個別配布

	住まい	回数	備考
A	燕市内	３回	燕中学校教員を通じて支援
B	燕市内	２回	一人暮らし
C	燕市内	３回	一人暮らし
D	燕市内	３回	一人暮らし
E	燕市内	４回	一人暮らし
F	燕市内	３回	一人暮らし
G	燕市内	３回	５人家族
H	弥彦村	２回	４人家族

＜フードパントリー（配布会）の様子＞

いただいた食品はブース毎に置き、来ていただいた方から選んでいただきました。燕市のマスコット『きららん』と弥彦村のマスコット『ミコぴょん』も大活躍し場を和やかにしてくれました。

Ⅳ　ご協力、ご支援いただいている企業及び団体様

分水ライオンズクラブ、分水商工会、分水地区民生・児童委員、分水小学校区まちづくり協議会、分水北地区まちづくり協議会、島上地区まちづくり協議会四箇村まちづくり協議会、弥彦村ライオンズクラブ、新潟縣信用組合弥彦支店新潟縣信用組合寺泊支店、新潟縣信用組合吉田支店、新潟縣信用組合北吉田支店、新潟縣信用組合吉田東支店、労働金庫巻支店（新潟市）、株式会社スノエ（長岡市）

Ⅴ　補助金

・新潟県より：新潟県フードバンク設備整備支援事業補助金
￥４４５，０００円
【冷凍冷蔵庫】と【玄米保冷庫】を購入させていただきました。

＜冷凍冷蔵庫＞

＜玄米保冷庫＞

Ⅵ　貸与

・弥彦村より車両貸与
『新型コロナウイルス渦で生活が困窮している方に役立ててほしいと、弥彦村内の企業様よりいただいた寄付金を活用し、配食事業やフードバンク燕・弥彦の活動に使用する軽自動車を１台購入しました。』（広報やひこより抜粋）
お借りして、配食事業やフードバンク活動に使用させていただいています。

Ⅶ　加入団体

・新潟県フードバンク連絡協議会
・新潟県フードバンク連盟